

熟塾お花見企画・大正3年築の「料亭まつむら」(旧住友家別宅)の姥桜に咲く桜花を愛でましょう!

料亭「まつむら」で花見弁当と落語と踊りと唄と三味線を楽しもう会



日時: 2019年4月13日(土曜日)

12時 ~ 15時 (開場11時半)

落語 & 踊り:

林家染吉「隣の桜」 & 「奴さん」
桂弥っこ「子ほめ」 & 「お楽しみ」



はやしや香穂

唄と三味線:
はやしや香穂

会場: 料亭「まつむら」

大阪市天王寺区悲田院町1-24 電話: 06-6771-0421
JR 天王寺駅 北口 徒歩2分 / 地下鉄御堂筋線OR谷町線 天王寺駅 7番出口 徒歩2分 /
近鉄南大阪線 大阪阿部野橋駅 徒歩3分



桂弥っこ



林家染吉

会費: 一般 6,800円 / 塾生 6,000円

(花見弁当・落語・踊り・唄・三味線の鑑賞付き)

定員: 先着申込み50名様

JR 天王寺駅北口駅をでて信号を渡り、パチンコ店横の小道を歩いていくとそびえ立つ高層マンションの手前に、一角だけ時間が止まったような料亭「まつむら」の長い塀が続き、蔵と松のお出迎え、人力車が送り迎えしていた余韻漂う門を潜ると、古民家独特の空気感に包まれる。



その建物は大正3年築の住友保丸分家の大阪別邸として、住友京都本家先代15代住友吉左衛門友純の本宅を設計した住友本店技師日高胖、施工は大阪の数寄屋棟梁八木甚兵衛、庭は京都本家に携わった名造園庭師小川治兵衛が茶庭を手掛けた。約60年前に吉野林業に譲られ、2階の広間を増築されたが、1階は往時の姿を今に伝える大阪でも稀に見る素晴らしい数寄屋建築の料亭「まつむら」として営業を続けている。

庭に、一本の姥桜が鎮座している。八重桜の古木は、一時の勢いはないものの春には艶やかな桜花を身に纏う。

その庭の桜を愛でながら、料亭「まつむら」の花見弁当を味わい、落語に新地の元芸妓の西川梅十三さん直伝の踊りに、唄や三味線を楽しむ「お大尽気分」の土曜の昼下がりの花見の宴に御一緒しませんか?

料亭「まつむら」で花見弁当と落語と踊りと唄と三味線を楽しもう会参加申込書

申込み締切: 4月11日(木曜日)

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX: 06-6946-2815

お名前

ご住所

〒

TEL NO

E-mail

電話: 090-8381-0150 (不在の場合は、留守電にお名前・ご住所・お電話番号を録音願います)
熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com)からもお申し込みいただけます。
お申し込みいただくと、会場の場所等を明記した参加証を郵送いたしますので会費は当日ご精算ください。
花見弁当を用意しますので、4月11日(木)からのキャンセルについては、会費全額を請求させていただきますので、ご了承願います。